

令和6年度
南和地域における
入退院調整状況調査結果報告
入退院調整ルールづくり事業

取組方針

目的

- ・ 入退院調整ルールを活用状況の効果と課題を把握する。



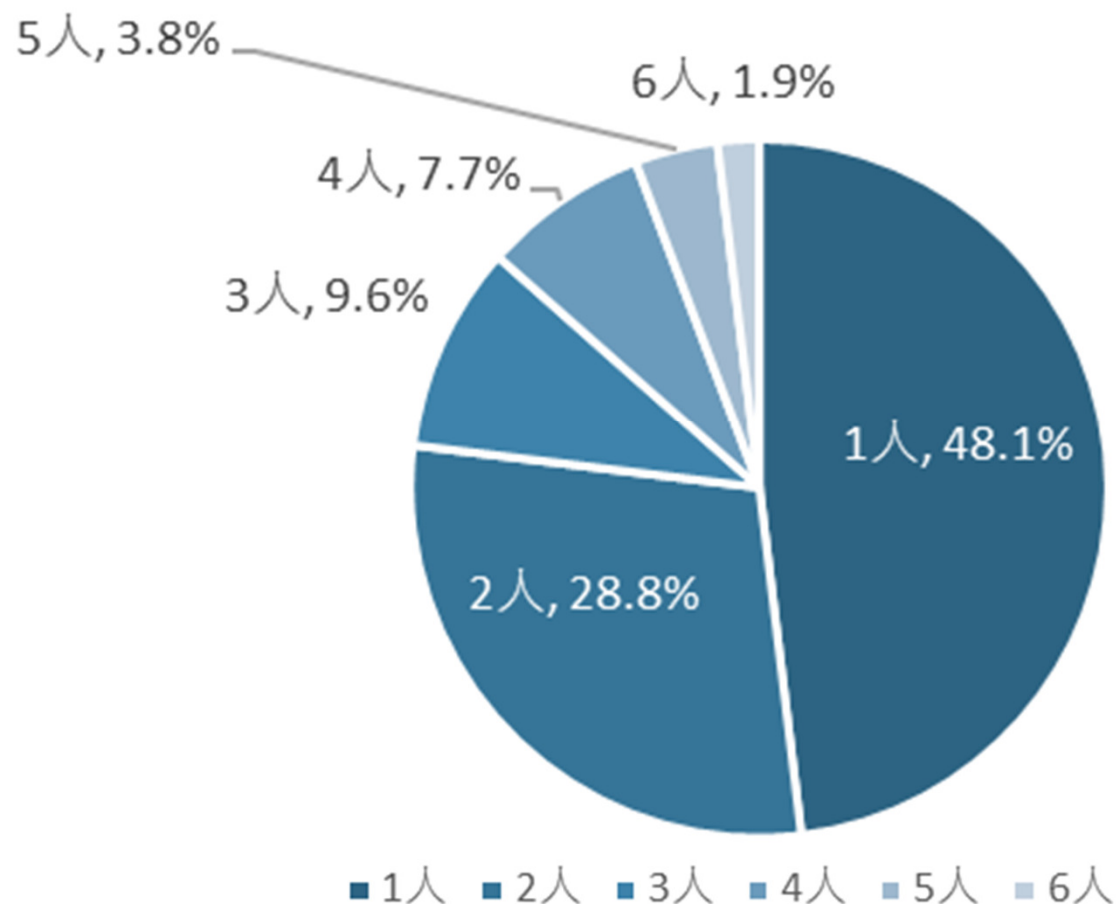
- 病院と地域の切れ目のない連携により
 - ・ “介護が必要になっても安心して住み続けられる南和地域” を目指して
 - ・ 平成31年2月に入退院調整ルールの運用が開始
- 南和地域12市町村と奈良県・吉野保健所が協働して毎年6月に、入退院調整状況調査を実施

調査の概要

調査内容	担当ケースの概要・入退院の連絡状況・入退院調整の問題 マニュアルの活用状況・入退院支援で改善点や課題
調査の対象	南和地域12市町村〔五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、 野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村〕 <ul style="list-style-type: none">● 居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーと地域包括支援センター職員● 居宅介護事業所 44ヶ所● 地域包括支援センター 12ヶ所
調査実施期間	令和6年6月1日～6月30日
調査方法	各市町村にて調査票を配布、回収（FAX等方法は各市町村対応）
回答数	<ul style="list-style-type: none">● 居宅介護支援事業所44ヶ所（100%）● 地域包括支援センター12ヶ所（100%） *居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーと地域包括支援センター職員 （のべ102人）

事業所別在籍ケアマネジャー数

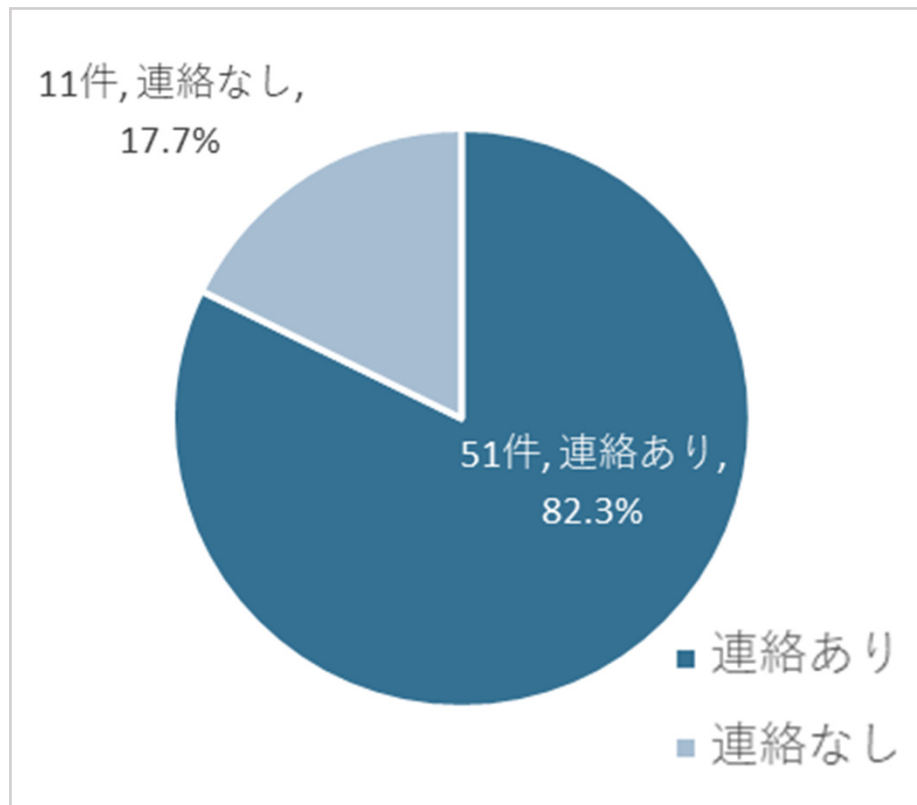
事業所別の在籍ケアマネジャー数について、1人の事業所が全体の約半分、次いで、2人の事業所が約3割と1事業所あたり、平均2.0人
※令和4年 都道府県別ケアマネジャーの統計によると居宅介護支援1事業所数あたり、全国平均は、2.66人、奈良県平均は、2.39人



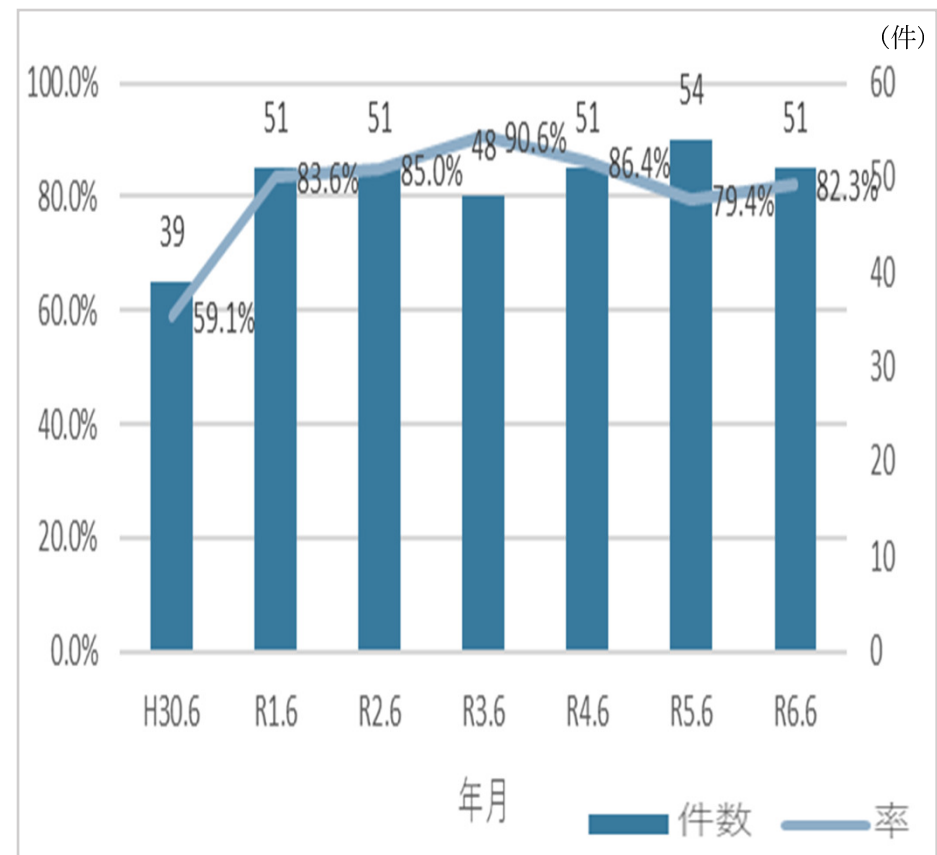
ケアマネジャー等調査における退院ケース

南和地域4病院からの退院調整の連絡は、昨年調査より約3ポイント上昇した。

① 南和地域4病院から退院したケースの退院調整の連絡状況について

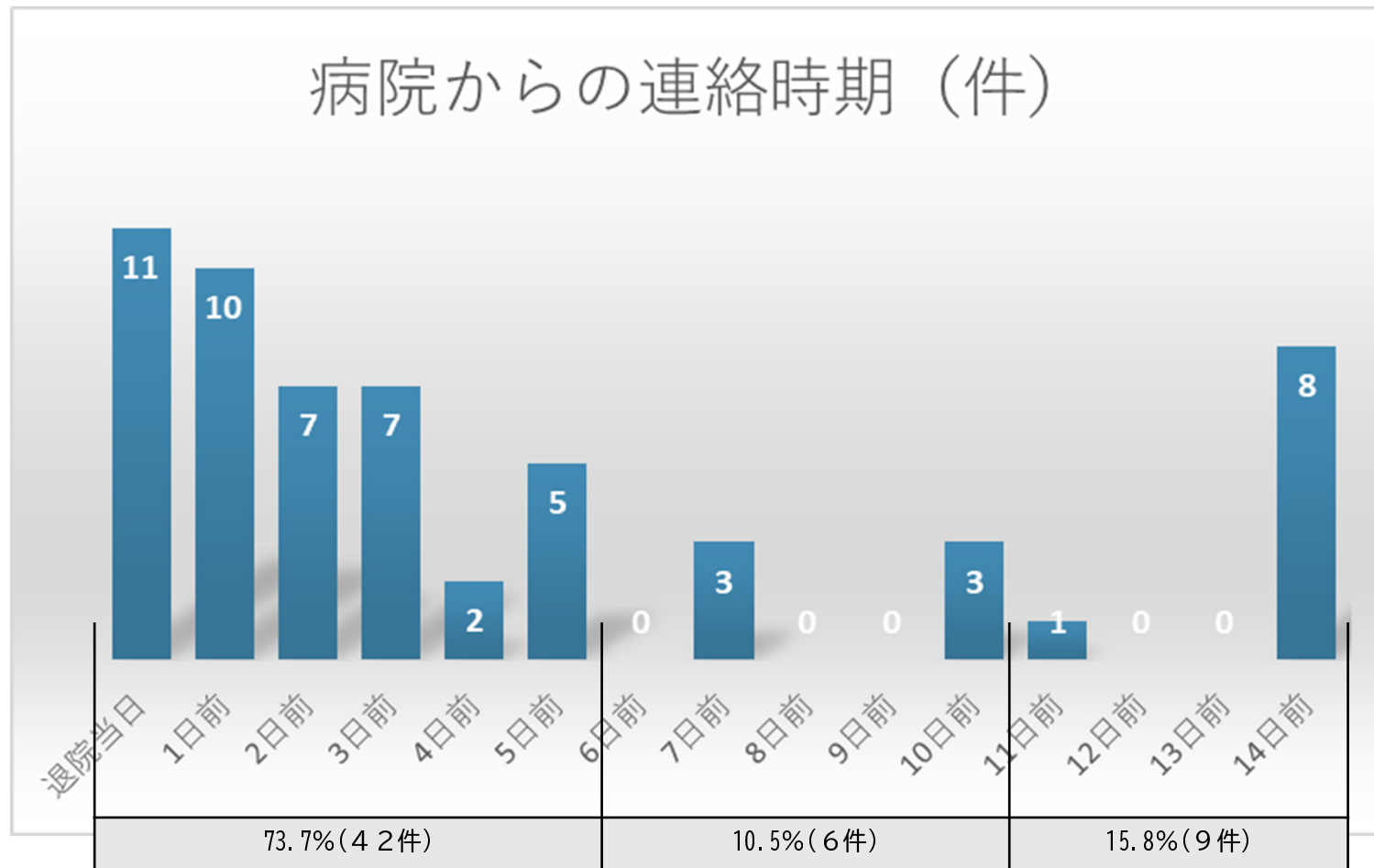


② 病院からの退院調整の連絡状況



病院からの連絡時期

病院からは、退院当日～ 5日前の連絡が7割と最も多く、次いで、11日前～14日前が2割、 6日前～ 10日前が1割となっている。



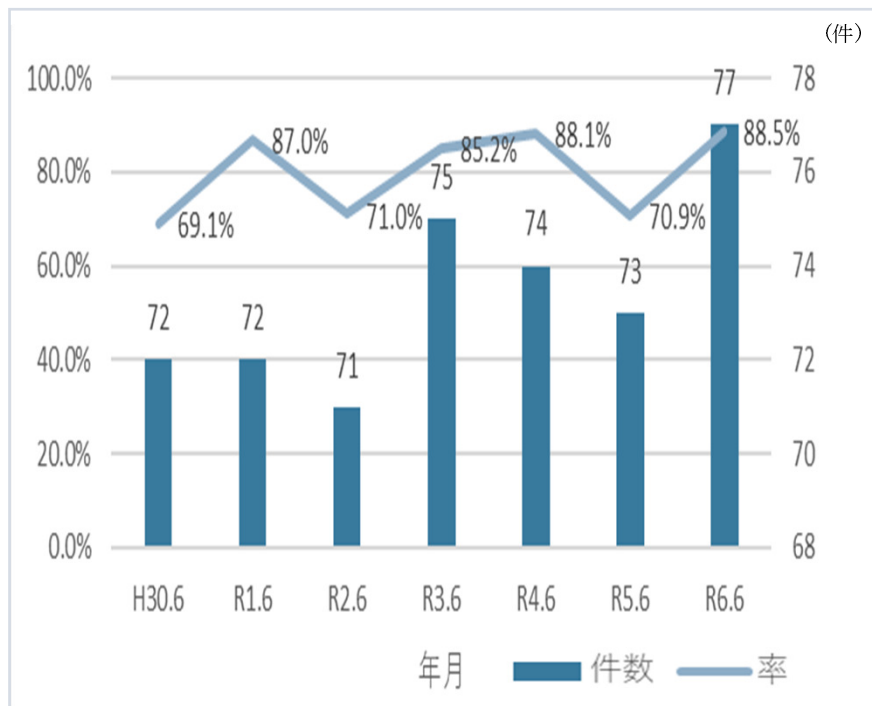
退院調整に問題があった理由

退院調整に問題があった理由		件数
調整できる時間が少ない		5件
看護サマリー等の患者に関する情報提供がない		2件
その他	施設入所	1件
	看取りのための退院	1件
	本人の意思による退院	1件
	家族の問題	1件

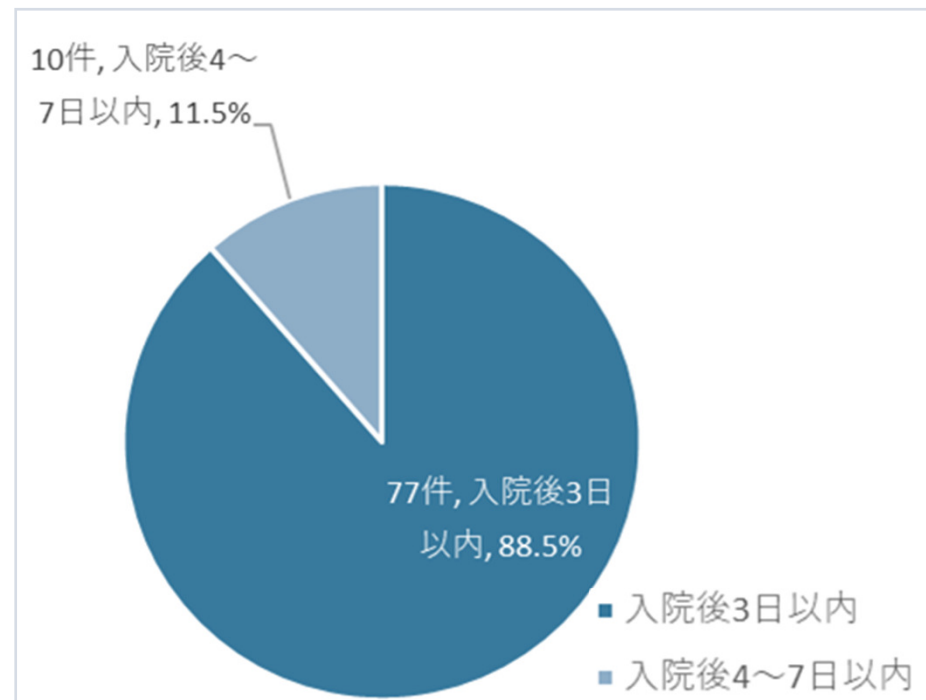
入院調整の状況

入院時情報提供書を提出できたうち、88.5%（77件）が入院後、3日以内に提出できている。
昨年度調査よりは、17.5ポイント上昇した。

① ケアマネジャーからの病院への入院時情報提供書の提出状況

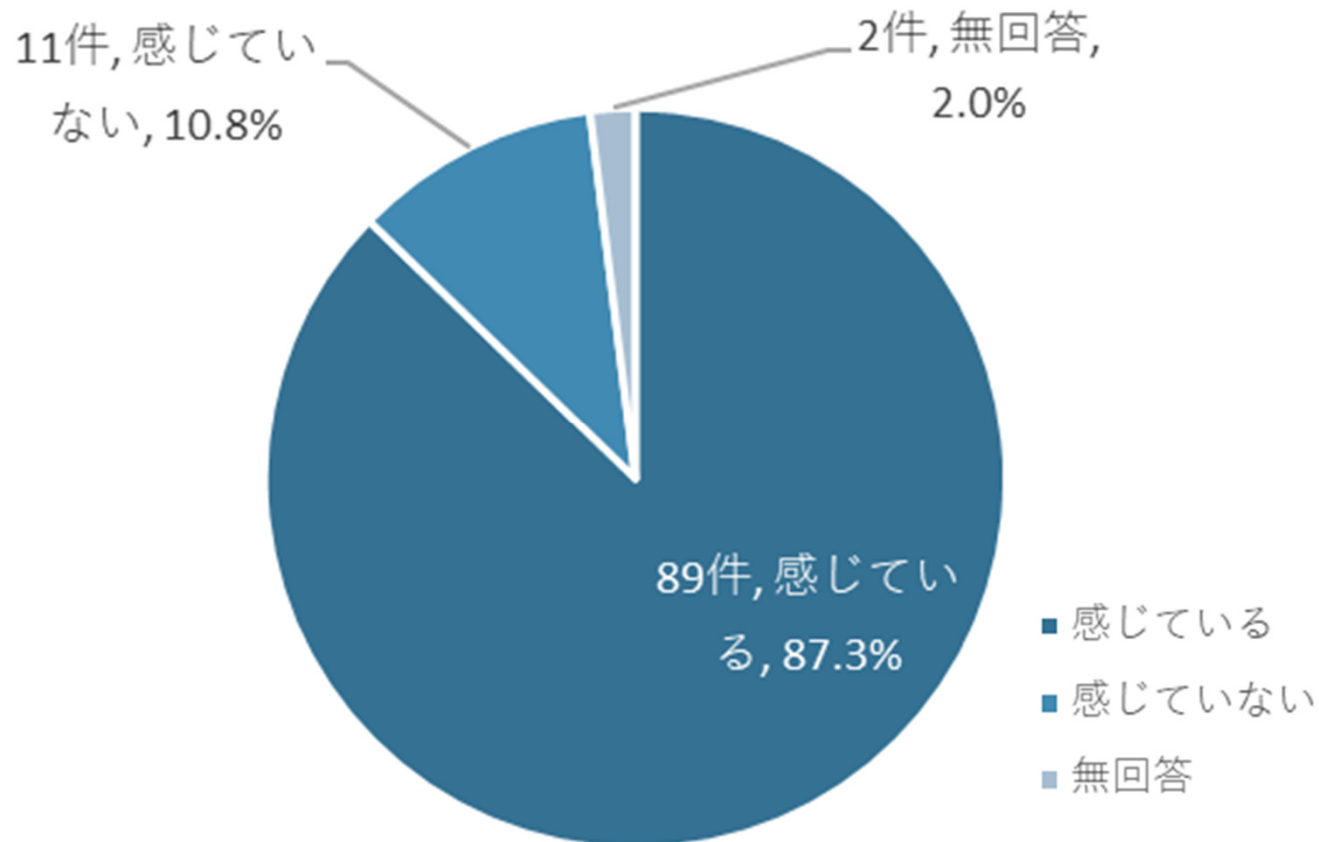


② 入院時情報提供書の提出日数



入退院連携マニュアルを活用した 病院との連携について

入退院連携マニュアルを活用してきた中で、全体の約9割（87.3%）の方が、病院との連携がスムーズだと感じている。



入退院連携マニュアルを活用した病院との連携について 「感じていない」と回答された理由



入院や退院の連絡なく
行われることがある。



入院の連絡が遅れることがあり、
退院時の連絡がほとんど無いことが多いです。

迅速かつ充実した入院時情報提供は、
ご本人やご家族の意思や状況に寄り添った効果的なケアや
円滑な退院後のサービスの再開の調整につながります。



連携の合言葉



ルールの連絡をするときは・・・
「**退院調整の連絡です！**」から始めましょう！

退院調整の連絡です！

□□病院△△病棟に〇〇さんが入院されました。
退院に向けてよろしくお願いします。

退院調整の連絡ですね！

ご連絡ありがとうございます。
在宅での様子など情報共有します。
退院に向けて調整等進めますので、引き続き連携を
よろしくお願いします！



まとめ

- 全体を通じて、南和地域の病院と連携することにより退院調整が比較的スムーズに行われていることがわかりました。
- 南和地域以外の県内病院や県外病院からの連絡がやや低い割合となっているため、今後さらに連絡体制を強化し、患者様のスムーズな退院調整を行うための取り組みが必要です。
- 施設を超えた情報共有（医療機関と地域ケア間）では、家族とのコミュニケーションの難しさも意見に挙げられており、医療関係者とケアマネジャー等が双方向で情報をやりとりする姿勢が重要であると考えられます。

今後とも皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。